4-283-582-**01** (2)

データ
プロジェクター

取扱説明書

VPL-SX125
VPL-SW125

機種の中には、国・地域によって販売されていないものがあります。 ソニーの相談窓口に確認してください。

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、
火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書と付属の簡易説明書をよくお読みのうえ、
製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、
いつでも見られるところに必ず保管してください。

目次

はじめに

準備

映像の投写と画面の調整

メニューで行う調整と設定

ネットワーク機能

その他

各部の名前と働き

本体

❶ **投写レンズ**

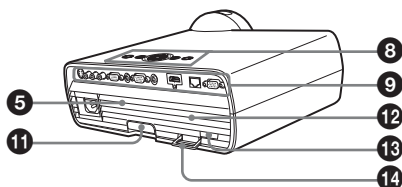
❷ **フォーカスリング（13 ページ）**

❸ **ランプカバー（39 ページ）**

❹ **エアーフィルターカバー／吸気口（41 ページ）**

❺ **吸気口**

❻ **排気口**

> **⚠警告**
> 排気口、吸気口をふさがないでください。内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。また、排気口付近に手を近づけたり、変形しやすいものを置いたりしないでください。やけどや変形の原因になることがあります。

❼ **LAMP/COVER インジケーター（34 ページ）**

❽ **本体ボタン部（5 ページ）**

❾ **接続端子部（4 ページ）**

❿ **リモコン受光部**

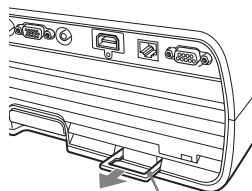
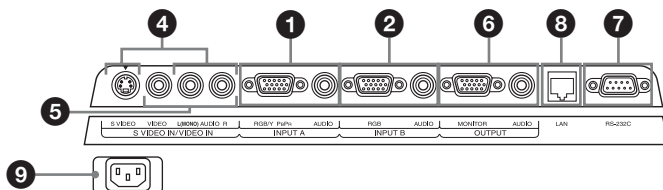
⓫ **アジャスター（13 ページ）**

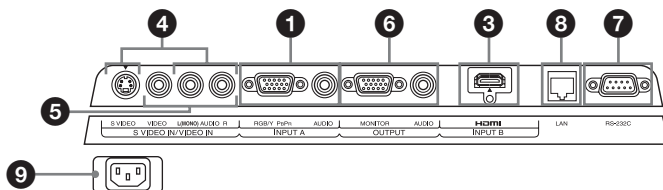
⓬ **スピーカー**

⓭ **盗難防止ロック**

Kensington 社製の盗難防止用ケーブルを取り付けることができます。詳しくは、Kensington 社のホームページをご覧ください。
http://www.kensington.com/

⓮ **盗難防止用バー**

市販の盗難防止チェーン（ワイヤー）などを取り付けることができます。
引き出しにくい場合はドライバーなどを使って引き出してください。

接続端子

VPL-SX125

VPL-SW125

入力（8、9 ページ）

❶ 入力 A（INPUT A）

映像：RGB ／ Y PB PR 入力端子（RGB ／ Y PB PR）
音声：音声入力端子（AUDIO）

❷ 入力 B（INPUT B）（VPL-SX125 のみ）

映像：RGB 入力端子（RGB）
音声：音声入力端子（AUDIO）

❸ 入力 B（INPUT B）（VPL-SW125 のみ）

映像：HDMI 入力端子（HDMI）
音声：HDMI 入力端子（HDMI）

❹ S ビデオ（S VIDEO IN）

映像：S ビデオ入力端子
音声：音声入力端子（L （MONO） AUDIO/ R）

❺ ビデオ（VIDEO IN）

映像：ビデオ入力端子
音声：音声入力端子（L （MONO） AUDIO/ R）

ご注意

S ビデオとビデオは同じ音声入力を使用します。

出力（11 ページ）

❻ 出力（OUTPUT）

映像：モニター出力端子（MONITOR）
音声：音声出力端子（AUDIO）

ご注意

投写している映像または音声が出力されます。映像については、RGB 入力端子（入力 A、入力 B（入力 B は VPL-SX125 のみ））からコンピューター信号を入力しているとき、または Y PB PR 入力端子（入力 A）からビデオ信号を入力しているときに出力できます。

その他

❼ RS-232C 端子

RS-232C 準拠の制御用端子です。

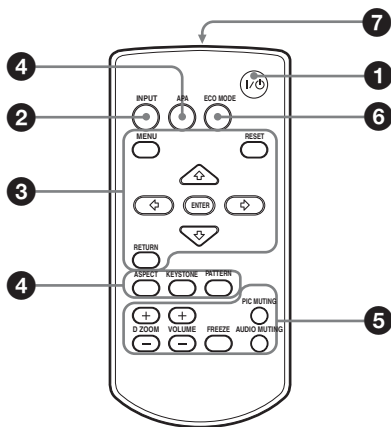
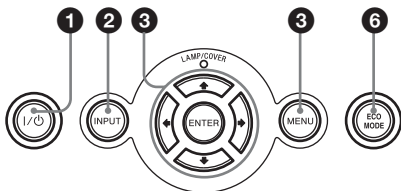
コンピューターの RS-232C 端子と RS-232C ケーブル（クロス）で接続します。

❽ LAN 端子 （30 ページ）

❾ 電源コンセント（~）

付属の電源コードを接続します。

リモコンと本体ボタン

リモコン

本体ボタン

❶ 電源を入／スタンバイする

I ／ ⏻（オン／スタンバイ）ボタン

❷ 入力を切り換える（12 ページ）

INPUT（入力選択）ボタン

❸ メニュー操作などを行う（16 ページ）

MENU（メニュー）ボタン

RESET（リセット）ボタン

ENTER（決定）／ ↑/↓/←/→（矢印）ボタン

RETURN（戻る）ボタン

本機では使用できません。

❹ 映像を調整する（13 ページ）

ASPECT（アスペクト）ボタン

KEYSTONE（台形補正）ボタン

PATTERN（パターン）ボタン

本機では使用できません。

APA（オートピクセルアライメント）ボタン*

ご注意

* RGB 入力端子（入力 A、入力 B（入力 B は VPL-SX125 のみ））からコンピューター信号を入力しているときに使用できます。

❺ 投写中の便利な機能を利用する

D ZOOM（デジタルズーム）+/ －ボタン *1

投写中の映像の一部を拡大します。

1 D ZOOM ＋ボタンを押し、投写画面上にデジタルズームアイコンを表示する。

2 ↑/↓/←/→ボタンで、拡大したい映像の位置にデジタルズームアイコンを移動させる。

3 D ZOOM ＋ボタンまたはD ZOOM －ボタンをくり返し押し、拡大率を変える。
拡大率は1倍から4倍まで変更できます。

RESETボタンを押すと、元の映像に戻ります。

PIC MUTING（ピクチャーミューティング）ボタン

一時的に映像を消します。もう一度押すと解除します。

AUDIO MUTING（オーディオミューティング）ボタン

音声出力時に一時的に音声を消します。もう一度押すと解除します。

VOLUME（音量）+/ －ボタン

音量を調整します。

FREEZE（フリーズ）ボタン *2

一時的に映像を静止します。もう一度押すと解除します。

ご注意

*1 コンピューター信号を入力しているときに使用できます。ただし入力信号の解像度によっては使用できない場合があります。

*2 コンピューター信号を入力しているときに使用できます。

❻ 簡単に省エネ設定をする

ECO MODE（エコ モード）ボタン

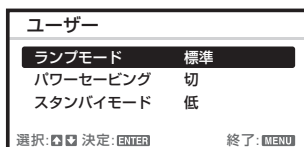
「ランプモード」、「パワーセービング」、「スタンバイモード」の省エネ設定ができます。

1 ECO MODEボタンを押し、ECOモードメニューを表示する。

2 ↑/↓ボタンまたはECO MODEボタンを押し、「ECO」または「ユーザー」モードを選ぶ。

ECO：それぞれの設定を最も省エネになる値（ランプモード：「低」／パワーセービング：「スタンバイ」／スタンバイモード：「低」）に設定します。（手順**6**へ）

ユーザー：省エネ設定を手動で行えます。（手順**3**へ）

3「ユーザー」を選び、→ボタンを押す。
設定項目が表示されます。

4 ↑/↓ ボタンで項目を選択し、ENTER ボタンを押して設定項目を選ぶ。

5 ↑/↓ ボタンで設定値を選ぶ。

6 ENTER ボタンを押す。
ユーザー画面に戻ります。

各設定項目の内容について詳細は、設置設定メニューの「ランプモード」（27 ページ）、「スタンバイモード」（28 ページ）、初期設定メニューの「パワーセービング」（24 ページ）をご覧ください。

その他

❼ リモコン発光部

リモコンの操作について

・リモコン受光部に向けて操作してください。
・本体に近いほど、操作可能な角度が広がります。
・リモコンと本体のリモコン受光部の間に障害物があると、操作できないことがあります。

接続のしかた

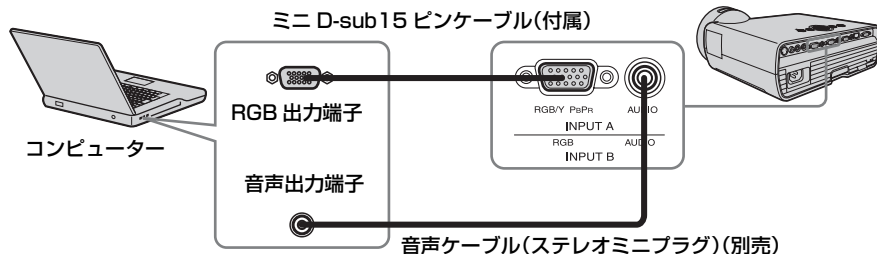
ご注意

・各機器の電源を切った状態で接続してください。
・接続ケーブルは、各端子の形状に合った正しいものを選んでください。
・プラグはしっかり差し込んでください。不完全な接続は、動作不良や画質不良の原因になります。抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。
・接続する機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。
・音声ケーブルは、抵抗なしのものをお使いください。

コンピューターとの接続

コンピューターとの接続のしかたを入力別に説明します。

入力A（INPUT A）／入力B（INPUT B）（入力BはVPL-SX125のみ）

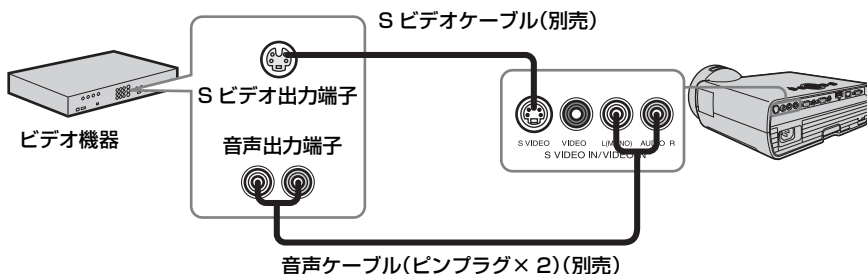
RGB出力端子付きのコンピューターと接続します。

ご注意

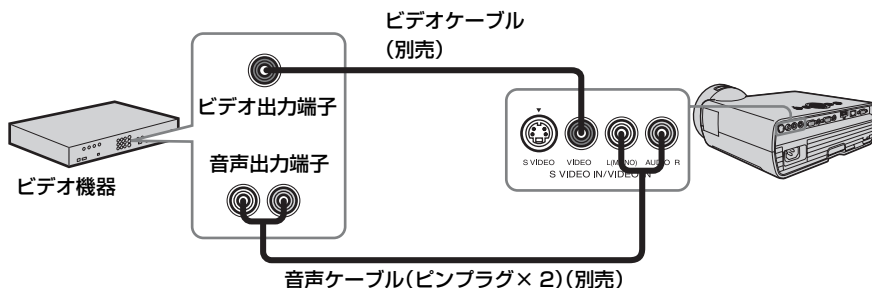
コンピューターの画面の設定で、外部モニターの解像度をVPL-SX125は1024 × 768ピクセル、VPL-SW125は1280 × 800ピクセルに設定することをおすすめします。

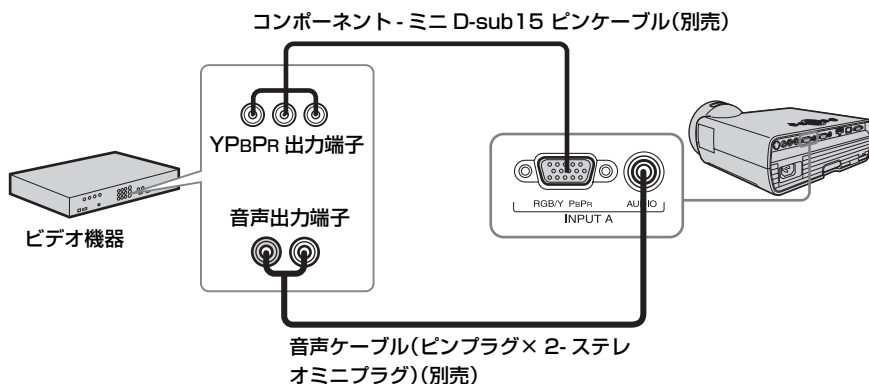
ビデオ機器との接続

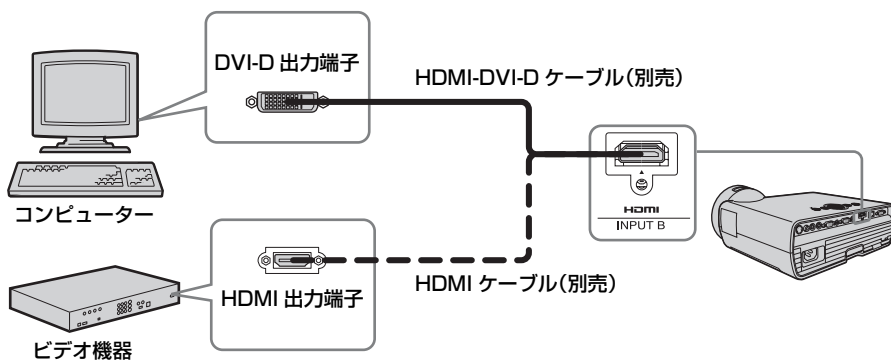
VHS ビデオ、DVD プレーヤー、BD プレーヤーなどのビデオ機器との接続のしかたを入力別に説明します。

S ビデオ（S VIDEO IN）

S ビデオ出力端子付きのビデオ機器と接続します。

ビデオ（VIDEO IN）

ビデオ出力端子付きのビデオ機器と接続します。

入力 A（INPUT A）

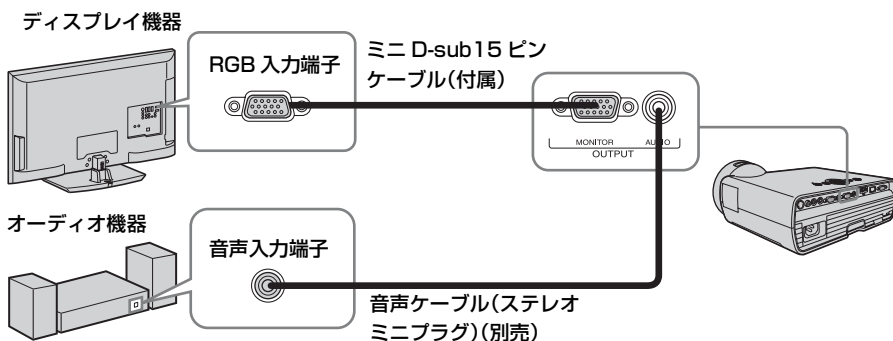
Y PB PR 出力端子付きのビデオ機器と接続します。

入力 B（INPUT B）（VPL-SW125 のみ）

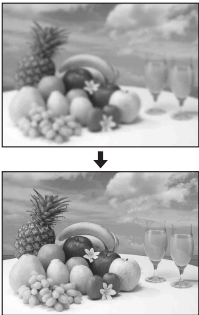
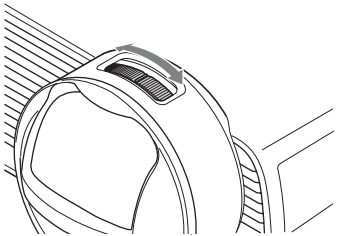
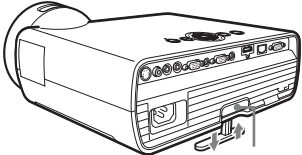
HDMI 出力端子付きのビデオ機器と接続します。

ご注意

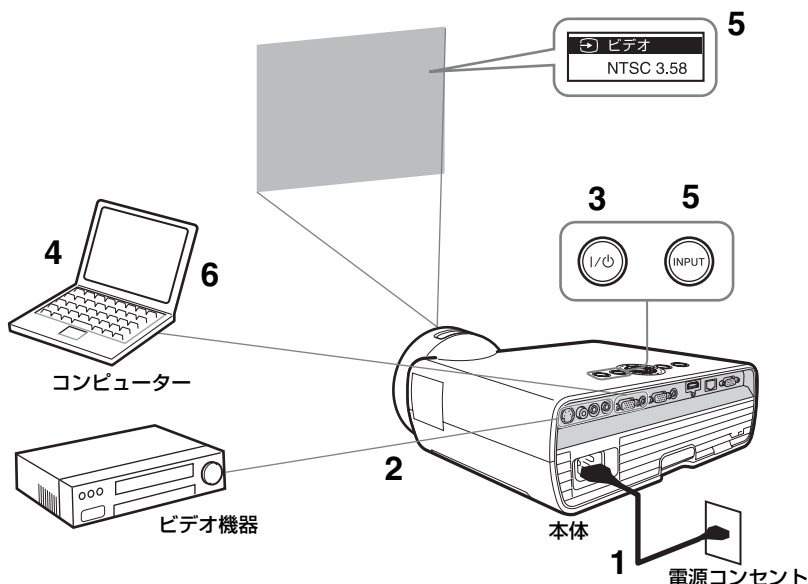
・HDMI で接続する機器、および HDMI ケーブルは、HDMI ロゴを取得したものをご使用ください。
・本機の HDMI 端子は、DSD（Direct Stream Digital）信号と CEC（Consumer Electronics Control）信号には対応していません。

外部モニター、オーディオ機器との接続

出力（OUTPUT）

投写中の映像または本機に入力された音声を、モニターなどのディスプレイ機器、またはアンプ内蔵スピーカーなどのオーディオ機器に出力することができます。音声出力端子にケーブルを接続すると、本体内蔵スピーカーはオフになります。

ご注意

投写している映像または音声が出力されます。映像については、RGB 入力端子（入力 A、入力 B（入力 B は VPL-SX125 のみ））からコンピューター信号を入力しているとき、または Y PB PR 入力端子（入力 A）からビデオ信号を入力しているときに出力できます。

映像を投写する

プロジェクター（本機）は、スクリーンまでの距離（投写距離）によって投写される映像の大きさが変わります。スクリーンサイズに合うように本機を設置してください。投写距離と投写される映像の大きさについて詳しくは、「投写距離」（47 ページ）をご覧ください。

1 **電源コードをコンセントに差し込む。**

2 **再生する機器と接続する（8 ページ）。**

3 **I/⏻ ボタンを押して、電源を入れる。**

4 **再生する機器の電源を入れる。**

5 **投写する映像を選ぶ。**

本機の INPUT ボタンを押すたびに、映像が切り換わります。
INPUT ボタンを繰り返し押して、投写する映像を選択します。

6 **コンピューター側で画面の出力先を外部ディスプレイに変更する。**

出力先の切り換えは、コンピューターによって異なります。
（例）

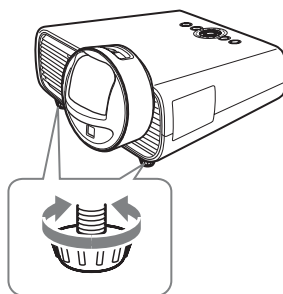
Fn ＋ F7

7 **画面のフォーカス、位置を調整する（13 ページ）。**

映像を調整する

画面のフォーカス（フォーカス）	画面の位置
	アジャスター調整ボタン

アジャスターによる微調整

脚を回して高さを微調整することができます。
アジャスターを使ってプロジェクターの傾きをかえることにより投写される画面の位置を調整します。

ご注意

・アジャスターを調整するときは、手をはさまないようにしてください。
・アジャスターを出した状態で、本機を上から強く押さえないでください。故障の原因になります。

投写画面の縦横比を変更する

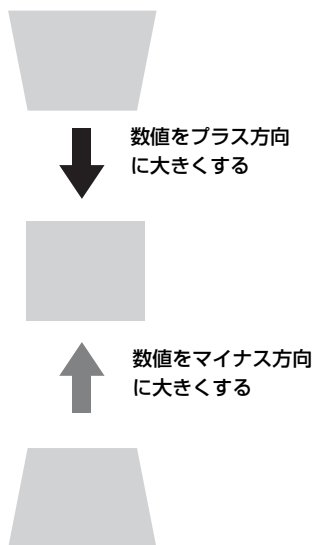
リモコンのASPECTボタンを押すと投写画面の縦横比が切り換わります。メニューの信号設定のアスペクトからも設定できます（20ページ、22ページ）。

台形になった画面を補正する（キーストーン補正）

通常は、自動的にオートキーストーン補正機能が働き、補正されますが、スクリーンが傾いていたりすると、正常に動作しない場合があります。その場合は、手動でキーストーン補正を行ってください。

1 リモコンのKEYSTONEボタンもしくは設置設定のVキーストーンを選び、調整メニューを表示する。
2 ↑/↓/←/→で数値を調整する。数値がプラス方向に大きくなると画面の上側の幅が小さくなり、マイナス方向に大きくなると画面の下側の幅が小さくなります。

ご注意

キーストーン補正は電子的な補正のため、画像が劣化する場合があります。

コンピューター信号入力時に投写画面のフェーズ、ピッチ、シフトを自動調整する（オートピクセルアライメント（APA））

リモコンのAPAボタンを押す。調整中にもう一度押すと、調整が取り消されます。メニュー（初期設定）のスマートAPAで「入」を選ぶと、信号が入力されると自動的にAPAを実行します（24ページ）。

電源を切る

1 本体またはリモコンの I/⏻ ボタンを押す。

確認のメッセージが表示されます。
メッセージに従って、もう一度 I/⏻ ボタンを押してください。

2 電源コードを抜く。

手順 1 のあと、しばらくの間本体を冷やすためにファンが回り続けますが、ファンの停止を待たずに電源コードを抜くこともできます。

確認のメッセージを消すには

本体またはリモコンの I/⏻ ボタン以外のボタンを押すか、しばらくの間何もボタンを押さないでいると消えます。

確認メッセージを出さずに電源を切るには

本体の I/⏻ ボタンを数秒間押し続けてください。

メニューの操作のしかた

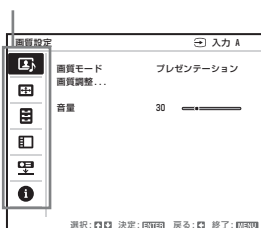
ご注意

説明で使用している画面はイメージです。ご使用になっている機種によって異なることがあります。あらかじめご了承ください。

1 **MENU ボタンを押して、メニュー画面を表示させる。**

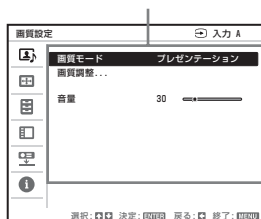
2 **設定したい設定メニューを選ぶ。**

↑ または ↓ ボタンを押して設定メニューを選び、→ ボタンまたは ENTER ボタンを押す。

設定メニュー

3 **設定したい項目を選ぶ。**

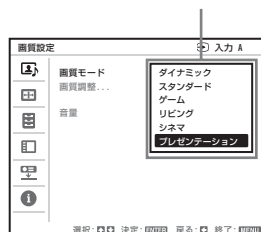
↑ または ↓ ボタンを押して項目を選び、→ ボタンまたは ENTER ボタンを押す。

← ボタンを押すと、設定メニューの選択に戻ります。

設定項目

4 **設定項目の設定や調整をする。**

設定項目によって、設定のしかたが異なります。次の階層が表示された場合は、**3** の手順に従って設定したい項目を選んでください。

← ボタンを押すと、設定項目の選択に戻ります。また、設定項目を設定、または調整中に RESET ボタンを押すと、お買い上げ時の値に戻ります。

選択項目

設定メニューの操作：

↑/↓ ボタンで項目を選びます。
ENTER ボタンを押すと元の画面に戻ります。

調整メニューの操作：

数値を大きくするときは ↑ または → ボタンを押し、数値を小さくするときは ↓ または ← ボタンを押します。ENTER ボタンを押すと設定が確定し、元の画面に戻ります。

5 MENU ボタンを押して、メニュー画面を消す。

しばらくの間操作をしないと、メニュー画面は自動的に消えます。

画質設定

入力信号ごとに画質を調整します。

項目	項目説明
画質モード	**ダイナミック：**明暗のはっきりしたメリハリのある鮮やかな画質になります。 **スタンダード：**なめらかな階調の自然な画質になります。 **ゲーム：**ゲームに適した画質になります。 **リビング：**スポーツ、ミュージック、デジタルビデオカメラなどの素材に適した画質になります。 **シネマ：**映画鑑賞に適した画質になります。 **プレゼンテーション** *1**：**プレゼンテーションに適した明るい画質になります。
画質調整 ...	下記の項目は、「画質モード」ごとに設定値が記憶されます。
コントラスト	数値が大きくなると映像のメリハリが強くなり、小さくなると弱くなります。
明るさ	数値が大きくなると映像が明るくなり、小さくなると暗くなります。
色の濃さ *2、*4	数値が大きくなると映像の色が濃くなり、小さくなると薄くなります。
色あい *2、*4、*5	数値が大きくなると映像の色あいが緑がかり、小さくなると赤みがかかります。
シャープネス *2	数値が大きくなると映像の輪郭がはっきりし、小さくなると柔らかくなります。
色温度 *3	**高／中／低：**高い温度ほど映像が青みがかった色調になり、低い温度ほど赤みがかった色調になります。
DDE *6	**切：**インターレース信号のまま変換せずに表示します。 **プログレッシブ：**インターレースのビデオ信号をプログレッシブに変換して表示します。 **フィルム：**映画フィルム映像を原画に忠実な映像に再現します。
ガンマモード *1	**グラフィックス：**中間調の再現性が高くなるガンマ補正曲線を選びます。写真を自然な階調で再現します。 **テキスト：**白と黒の対比をはっきりさせるガンマ補正曲線を選びます。文字の多い映像に適しています。
音量	数値が大きくなると音量が大きくなり、小さくなると音量が小さくなります。外部音声出力の音量レベルも連動します。

ご注意

*1：コンピューター信号入力時に選択できます。

*2：ビデオ信号入力時に選択できます。

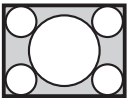
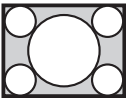
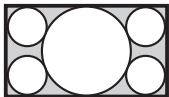
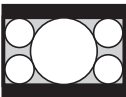
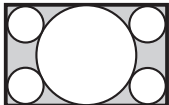
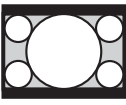
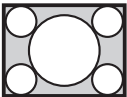
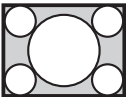
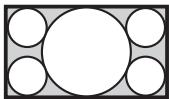
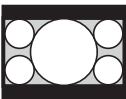
*3：画質モードを「プレゼンテーション」以外に設定している場合に選択できます。

*4：白黒信号入力時には選択できません。

*5：アナログ TV 信号の場合は、カラー方式によっては選択できない場合があります。

*6：プログレッシブ信号入力時および 1080i 信号入力時には選択できません。

信号設定

入力信号ごとに、投写画面のサイズ、位置、アスペクトなどを調整します。

項目	項目説明
入力信号調整	コンピューター信号入力時の投写画面を調整します。画面の端が切れていたり、映りが悪い場合に調整します。
ドットフェーズ[*1]	入力信号と表示画素の位相（フェーズ）を調整します。一番くっきり見える数値に設定してください。
水平サイズ[*1]	数値が大きくなると水平方向の表示画素の幅（ピッチ）が大きくなり、小さくなると幅が小さくなります。
シフト[*2]	**H（水平）：**数値が大きくなると画面が右に、小さくなると左に移動します。 **V（垂直）：**数値が大きくなると画面が上に、小さくなると下に移動します。
アスペクト[*3]	投写している画面の縦横比が切り換わります。（22 ページ）
コンピューター信号入力時	**ノーマル：**拡大処理をせずに入力信号の解像度のまま、画面の中心位置に投写します。
	フル 1：入力信号の縦横比を維持して画面いっぱいに投写します。
	フル 2：画面いっぱいに投写します。
	フル 3[*4]**：**オリジナル画像の縦横比を変えずに、1280 × 760 ドットの範囲に、縦または横いっぱいに投写します。
ビデオ信号入力時（VPL-SX125）	**4：3：**縦横比を 4：3 に固定し、画面いっぱいに投写します。 **16：9：**縦横比を 16：9 に固定し、画面いっぱいに投写します。 **ズーム：**画面の中心部分を拡大して投写します。
ビデオ信号入力時（VPL-SW125）	**ノーマル：**縦横比を 4：3 に固定して投写します。 **フル：**縦横比を 16：9 に固定して投写します。 **ズーム：**オリジナル映像のアスペクト比を保ったまま、映像を拡大します。 **ワイドズーム：**ゆがみを最低限に抑えて映像を拡大します。
オーバースキャン[*4][*5]	**入／切：**「入」を選ぶと映像の周囲を隠して投写します。映像の端にノイズなどが見える場合に使用します。

ご注意

*1：RGB入力端子（入力A、入力B（入力BはVPL-SX125のみ））から入力されるコンピューター信号入力時に選択できます。

*2：RGB入力端子（入力A、入力B（入力BはVPL-SX125のみ））から入力されるコンピューター信号入力時、またはY PB PR入力端子（入力A）から入力されるビデオ信号入力時に選択できます。

*3 ・営利目的、また公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテルなどにおいて、アスペクト機能などを利用して、面積の分割表示や圧縮、引き伸ばしなどを行いますと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますのでご注意ください。

・入力信号によって、「アスペクト」の項目または一部の設定項目を設定できない場合があります。また、異なるアスペクトを設定しても同じ映像になる場合があります。

・選択した項目によって画面の一部が黒で表示される場合があります。

*4：VPL-SW125のみ。

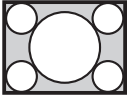
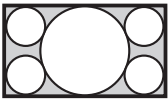
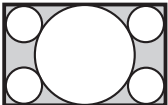
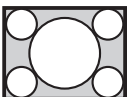
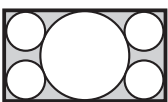
*5：Y PBPR入力端子（入力A）、またはHDMI入力端子（入力B）から入力されるビデオ信号入力時に選択できます。（VPL-SW125のみ対応。）

アスペクトについて

VPL-SX125

	入力信号	おすすめの設定値とそのときに投影される映像
コンピューター信号	「4：3」	「フル 1」*1
	「16：9」	「フル 1」*1 *2
	「16：10」	「フル 1」*1 *2
ビデオ信号	「4：3」	「4：3」*3
	「16：9」	「16：9」*4

*1 :「ノーマル」を選ぶと、拡大処理をせずに映像信号の解像度のままで表示します。

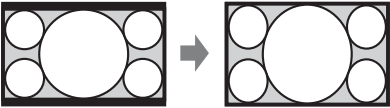
*2 :「フル 2」を選ぶと、縦横比を無視して画面いっぱいに投写します。

*3 :入力信号によっては、下のように表示される場合があります。この場合は「16：9」を選んでください。

*4 :入力信号によっては、下のように表示される場合があります。この場合は「ズーム」を選んでください。

VPL-SW125

	入力信号	おすすめの設定値とそのときに投写される映像
コンピューター信号	「4：3」	「フル 1」*1 *2 *3
	「16：9」	「フル 1」*1 *2 *3
	「16：10」	「フル 1」*3
ビデオ信号	「4：3」	「ノーマル」*4 *5
	「16：9」	「フル」

*1 :「ノーマル」を選ぶと、拡大処理をせずに映像信号の解像度のままで表示します。

*2 :「フル 2」を選ぶと、縦横比を無視して画面いっぱいに投写します。

*3 :16：9の信号で、スクリーン表示位置を調整した場合、4：3の信号を入力すると、上下がスクリーンからはみ出すことがあります。そのような場合は、「フル 3」を選択してください。

*4 :入力信号によっては、下のように表示される場合があります。この場合は「フル」を選んでください。

*5 :入力信号によっては、下のように表示される場合があります。この場合は「ズーム」を選んでください。

初期設定

本機が対応しているさまざまな機能を設定します。

項目	項目説明
スマート APA	**入／切：**「入」を選ぶと、信号が入力されると自動的に APA を実行します。[*1] [*2]
オート入力サーチ	**入／切：**「入」を選ぶと、電源投入時または、INPUT キーが押されたときに、入力 A ／入力 B ／ビデオ／ S ビデオの順に入力信号の有無を検出し、入力信号のあるチャンネルを表示します。
入力 A 信号種別	**オート／コンピューター／コンポーネント／ビデオ GBR：**「オート」を選ぶと、入力 A を選んでいるときの映像信号の種別を自動的に選びます。[*3]
カラー方式	**オート／ NTSC3.58 ／ PAL ／ PAL-60 ／ SECAM ／ NTSC4.43 ／ PAL-M ／ PAL-N：**「オート」を選ぶと、S ビデオ、ビデオを選んでいるときの映像信号のカラー方式を自動的に選びます。[*3]
パワーセービング	**ランプオフ：**本体に信号が入力されない状態が 10 分以上続いた場合に、自動的にランプが切れて消費電力を少なくすることができます。信号が入力されるか、ボタンを操作すると再びランプが点灯します。ランプオフ状態では、I/⏻ ボタンはオレンジ色に点灯します。（34 ページ） **スタンバイ：**本体に信号が入力されない状態が 10 分以上続くと自動的に電源が切れ、スタンバイ状態になります。 **切：**パワーセービング機能を無効にします。
パネルキーロック	**入／切：**「入」を選ぶと、本体ボタンでの操作ができなくなります。ただし、「入」の場合でも以下の操作はできます。 ・スタンバイ状態で、I/⏻ ボタンを約 10 秒押す。 ➔電源が入ります。 ・電源が入った状態で、I/⏻ ボタンを約 10 秒押す。 ➔スタンバイ状態になります。 ・電源が入った状態で、MENU ボタンを約 10 秒押す。 ➔パネルキーロックが「切」になり、本体ボタンの操作が可能になります。

項目	項目説明
CC ディスプレイ	**CC1 ／ CC2 ／ CC3 ／ CC4 ／ Text1 ／ Text2 ／ Text3 ／ Text4：**表示する CC（クローズドキャプション）のサービス（字幕または文字情報）を選択します。 **切：**CC を表示しません。
ネットワーク設定[*4]	
IP アドレス設定	**自動 (DHCP)：**ルーターなどの DHCP サーバー機能により、自動でネットワークの設定を割り当てます。 **手動：**手動でネットワークを設定します。
IP アドレス／サブネットマスク／デフォルトゲートウェイ／DNS サーバアドレス／適用	IP アドレス設定で「手動」を選んだときに、◆ または ◆ で入力する値を選び、◆ または ◆ で値を入力します。すべての入力が終了したら「適用」を選び、ENTER ボタンを押すと設定が有効になります。
ランプタイマー初期化	ランプを交換したときにランプタイマーを初期化します。（39 ページ）

ご注意

*1：RGB 入力端子（入力 A、入力 B（入力 B は VPL-SX125 のみ））からコンピューター信号が入力された時に APA が実行されます。

*2：投写している画像の周辺領域に黒の部分が多く含まれていると正しく働かず、画像の一部が表示されないことがあります。また、入力信号によっては、最適にならない場合があります。その場合は手動で「ドットフェーズ」、「水平サイズ」、「シフト」を調整してください。

*3：入力される映像信号によっては、最適にならない場合があります。その場合は、接続している機器に応じて手動で設定してください。

*4：設置設定メニューの「外部制御」で、「REMOTE」を選択しているとき「ネットワーク設定」は表示されません。

メニュー設定

メニューやリモコンによる操作のための機能を設定します。

項目	項目説明
画面表示	**入**：すべての画面表示が有効になります。 **切**：メニューの表示、電源を切るときの確認メッセージ、警告メッセージ以外の画面表示が出なくなります。
表示言語	メニューやメッセージなどに使用する言語を設定します。
メニュー位置	**左上**／**左下**／**中央**／**右上**／**右下**：メニューの表示位置を設定します。
スタートアップイメージ	**入**／**切**：「入」を選ぶと起動時にスタートアップイメージが表示されます。

設置設定

本機を設置するときに使われる機能を設定します。

項目	項目説明
V キーストーン [*1]	**オート：**自動でキーストーン補正を行います。スクリーンが傾いていたりすると、正常に動作しない場合があります。その場合は、「手動」を選び、キーストーン補正を手動で行ってください。 **手動：**数値がプラス方向に大きくなると画面の上側の幅が小さくなり、マイナス方向に大きくなると画面の下側の幅が小さくなります。
画像反転	**上下左右／左右／上下／切：**設置方法に応じて映像を水平または垂直方向に反転します。
無信号入力時背景	**ブラック／ブルー：**信号が入力されていないときの背景の色を設定できます。
ランプモード	**高／標準／低：**「高」を選ぶと映像は明るくなり、消費電力が高くなります。
高地モード [*2]	**入／切：**高地（海抜 1500 m 以上）で使用する場合に「入」に設定してください。誤った設定のままで使用すると、部品の信頼性などに影響を与える恐れがあります。
セキュリティロック [*3]	**入／切：**パスワードを設定し、利用者を制限することができます。 セキュリティロックの設定手順は以下のとおりです。 **1** 「入」を選び、ENTER ボタンを押して設定画面を表示する。 **2** MENU、↑/↓/←/→、ENTER の 6 つのボタンを使用してパスワードを入力する。（出荷時は“ENTER, ENTER, ENTER, ENTER”が設定されています。） **3** MENU、↑/↓/←/→、ENTER の 6 つのボタンを使用して新しいパスワードを入力する。 **4** 確認のため、もう一度新しく設定したパスワードを入力する。 パスワードは、電源コードの抜き差しをしたあと、電源を入れたときに入力します。 「切」を選ぶとセキュリティロックを解除できます。このときも、パスワードの入力が必要です。 パスワードの入力に 3 回続けて失敗すると、これ以降の操作ができません。その場合は、I/⏻ ボタンを押して一度スタンバイにし、もう一度電源を入れ直してください。
ダイレクトパワーオン	**入／切：**「入」を選ぶと、電源コードをコンセントに接続したときに、スタンバイ状態を経ずに電源が入になるようになります。電源を切るときは、ダイレクトパワーオンの設定に関わらず、スタンバイを経ずに電源コードを抜くことができます。

項目	項目説明
外部制御	**REMOTE：**RS-232C で制御するときに選びます。 **NETWORK：**ネットワークで制御するときに選びます。
スタンバイモード*4	**標準／低：**「低」を選ぶと、スタンバイ時の消費電力が少なくなります。

ご注意

*1：キーストーン補正は電子的な補正のため、画像が劣化する場合があります。

*2：高地モードを「入」にした場合、ファンの回転数が上がり、音が少し大きくなります。

*3：パスワードが分からなくなった場合、本機を使用することができなくなりますので充分にご注意ください。ソニーの相談窓口にお問い合わせいただくと、パスワードをご案内いたします。その際は、本機のシリアル番号とお客様の確認が必要になります。（確認方法は、販売国／地域によって異なります。）

*4：スタンバイモードが「低」の場合、スタンバイ時にネットワークおよびネットワークコントロール機能は使えません。

ⓘ 情報

ランプの使用時間など、本機の情報を確認できます。

項目	項目説明
モデル名	本機のモデル名を表示します。
シリアル No.	本機のシリアル番号を表示します。
水平周波数 *1	現在入力されている信号の水平周波数を表示します。
垂直周波数 *1	現在入力されている信号の垂直周波数を表示します。
信号の種類	現在入力されている信号の種類を表示します。
ランプ使用時間	これまでのランプの使用時間を表示します。

ご注意

*1：入力信号によって表示されない場合があります。

ネットワーク機能を利用する

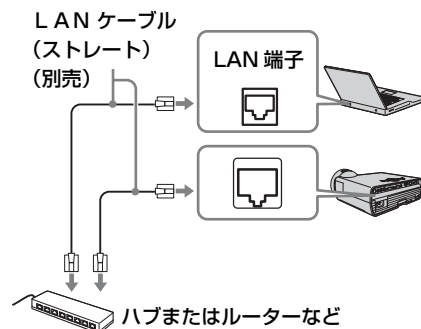
プロジェクターをネットワークに接続することで、以下のことができます。

・ウェブブラウザを利用してプロジェクターの現在の状況を確認する。
・ウェブブラウザを利用してプロジェクターを遠隔操作する。
・プロジェクターからメールレポートを受け取る。
・プロジェクターのネットワーク設定を行う。
・各種ネットワーク監視、制御プロトコル（Advertisement 、PJ Talk、PJ Link、AMX DDDP （Dynamic Device Discovery Protocol））に対応。

ご注意

・説明で使用している画面はイメージです。ご使用になっている機種によっては異なる場合があります。あらかじめご了承ください。
・使用できるウェブブラウザは、Internet Explorer 6/7/8 です。
・表示可能言語は英語のみです。
・コンピューターからプロジェクターにアクセスする際、ブラウザの設定が「プロキシサーバーを使用する」になっている場合は、チェックマークをクリックし、プロキシサーバーを使用しない設定にしてください。

ウェブブラウザでプロジェクターのコントロール画面を開く

1 LAN ケーブルをつなぐ。

2 プロジェクターのネットワーク設定を行う。

「初期設定」の「ネットワーク設定」でプロジェクターのネットワーク設定を行ってください（25 ページ）。

3 ウェブブラウザを起動し、アドレス欄に以下を入力し <ENTER> キーを押す。

http://xxx.xxx.xxx.xxx
（xxx.xxx.xxx.xxx：プロジェクターの IP アドレス）
プロジェクターの IP アドレスは、「初期設定」の「ネットワーク設定」で確認できます。
ブラウザに以下のようなコントロール画面が表示されます。

一度ネットワーク設定を行えば、次回からは手順 **3** の操作だけでコントロール画面を表示できます。

コントロール画面の操作方法

ページを切り換える

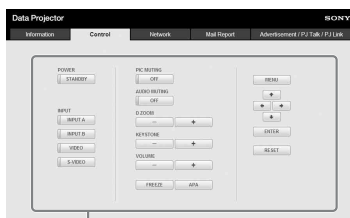
ページ切換えボタンをクリックして、設定したいページを表示してください。

プロジェクターの状態を確認する

Information ページを開くと、プロジェクターの現在の状態を確認できます。

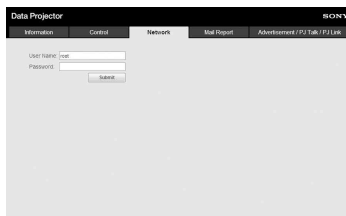
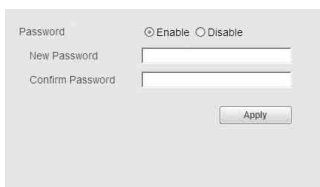
情報エリア

プロジェクターを操作する

Control ページからプロジェクターを操作します。

各ボタンの働きは、リモコンのボタンと同じになります。

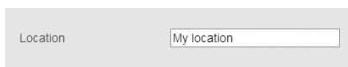
設定する

ネットワークパスワードの設定

Network ページを選択すると、ログイン画面が表示されます。

お買い上げ時は、パスワードは設定されていません。ユーザー名は「root」に固定されています。ログインが終了したら、必要な情報を設定します。

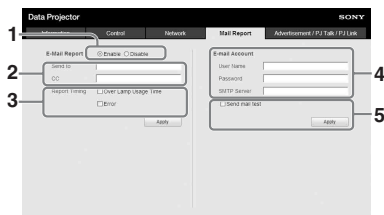
パスワードを変更する

Enable：選択すると新しいパスワードを設定できます。

Disable：選択すると、パスワードは設定できません。

ご注意

パスワードを忘れた時は、ソニーの相談窓口へお問い合わせください。

ロケーションの設定

Location：プロジェクターの設置場所を入力します。

メールレポート機能を利用する

Mail Report ページを選択し、機能を設定します。このページで入力した値は、Apply ボタンを押すまで適用されません。

1 メールレポート機能を設定する。

Enable：選択するとメールレポート機能が有効になります。

Disable：選択すると、メールレポート機能が無効になります。

2 送信先メールアドレスを入力する。

Send To に送信先のメールアドレスを入力し、発行するメールレポートの Report Timing チェックボックスにチェックをします。

CC にメールアドレスを入力することで、複数のあて先に送信できます。

3 メールレポートのタイミングを設定する。

Report Timing を設定します。

Over Lamp Usage Time：ランプの交換時期がきたことを通知したいときにチェックします。

Error：エラーが発生したときに通知したいときにチェックします。

4 メールレポートを送信するためのメールアカウントを設定する。

User Name：割り当てられた User Name を入力します。最大入力文字数は 64 文字です。

Password：メールパスワードを入力します。

SMTP Server：送信メールサーバー（SMTP）のアドレスを入力します。最大入力文字数は 64 文字です。

5 テストメールを送信する。

チェックボックスにチェックを入れて Apply ボタンを押すと、設定した送信先アドレスにテストメールが送信されます。

ご注意

- Outbound Port25 Blocking を行っているネットワークでは SMTP サーバーには接続できないためメールレポート機能を使用することはできません。
- 文字列が入力できるボックスに「'」「"」「&」「<」「>」の 5 文字は使用できません。

インジケーターの見かた

インジケーターの点灯により、本機の状態や異常の発生を確認することができます。異常が発生している場合は、表に従い対処してください。

I/⏻ ボタン

状況	意味／対処のしかた
赤色に点灯	スタンバイ状態です。
緑色に点滅	本体に電源が入り、操作可能になるまでの間、または電源を切ったあと、冷却している状態です。
緑色に点灯	電源が入っている状態です。
オレンジ色に点灯	パワーセービング（ランプオフ）状態です（24 ページ）。
赤色に点滅	異常な状態です。点滅回数により症状が異なります。以下の内容に従って対処してください。また、以下の対処を行っても症状が再発する場合は、ソニーの相談窓口にご相談ください。
2 回点滅	内部温度が高温になっています。以下を確認してください。 ・排気口、吸気口が壁や物などでふさがれていないか。 ・エアーフィルターがつまっていないか（3 ページ、41 ページ）。
6 回点滅	電源コードを抜き、I/⏻ ボタンが消えるのを確認してからもう一度電源コードをコンセントに差し込み、電源を入れてください。
その他の点滅回数	ソニーの相談窓口にご相談ください。

LAMP/COVER インジケーター

状況	意味／対処のしかた
赤色に点滅	点滅回数により症状が異なります。以下の内容に従って対処してください。
2 回点滅	ランプカバー、またはエアーフィルターカバーが確実に取り付けられていません（41 ページ）。
3 回点滅	ランプが高温になっています。電源を切り、ランプが冷えてからもう一度電源を入れてください。 症状が再発する場合は、ランプの消耗が考えられます。新しいランプに交換してください（39 ページ）。

メッセージ一覧

画面に次のようなメッセージが表示されたら、表に従い対処してください。

メッセージ	意味／対処のしかた	ページ
セット内部温度が高いです。1 分後にランプオフします。	以下を確認してください。 ・排気口、吸気口がふさがれていないか。 ・エアーフィルターがつまっていないか。	3、41
入力信号の周波数が対応範囲をこえています！	接続先の機器の外部出力設定を本機が対応している信号に変更してください。	46
入力 A 信号種別の設定を確認してください。	「入力 A 信号種別」をオート、または入力されている信号に合わせて設定してください。	24
ランプを交換し、フィルターを掃除してください。	ランプを交換し、エアーフィルターを掃除してください。 メッセージは、ランプを交換してランプタイマーを初期化するまで、起動時に毎回表示されます。	39、41
無効キーが押されました。	無効なボタンが押されました。	–
パネルキーロック中です！	パネルキーロックが設定されています。	24

その他

故障かな？と思ったら

修理に出す前に、もう一度次の点検をしてください。以下の対処を行っても直らない場合は、お買い上げ店またはソニーの相談窓口にお問い合わせください。

症状	対処のしかた	ページ
電源が入らない	電源コードがしっかりと差し込まれていることを確認してください。	–
	「パネルキーロック」が「入」になっていると、本体の I/⏻ ボタンで電源を入れることができません。	24
	ランプまたはランプカバーが確実に取り付けられていないと電源が入りません。	39
	エアーフィルターまたはエアーフィルターカバーが確実に取り付けられていないと電源が入りません。	41
映像が映らない	再生する機器との間の接続ケーブルがしっかりと差し込まれていることを確認してください。	–
	コンピューターの出力設定が外部モニター出力になっていることを確認してください。 ノート型のコンピューターなどで、出力信号をコンピューターの液晶ディスプレイと外部モニターの両方に出力するように設定すると、外部モニターに正しく映像が出ない場合があります。この場合は、外部モニターにのみ信号が出力されるように、コンピューターを設定してください。	12
	入力が正しく選ばれていることを確認してください。	12
	消画（ミューティング）されていないことを確認してください。	6
画面表示が出ない	「画面表示」が「切」になっていると表示されません。	26
アスペクト（画面の縦横比）がおかしい／画面が小さく表示される／映像の一部が表示されない	「アスペクト」を手動で設定してください。	5、20、22

症状	対処のしかた	ページ
画面が台形になっている	投写する面に対して斜めに投写していると、画面が台形になります。この場合、キーストーン補正機能を利用して補正することができます。	5、14、27
	「V キーストーン」が「手動」になっていると自動的にキーストーン補正がされません。「V キーストーン」を「オート」に設定するか、手動で調整してください。	5、14、27
	スクリーンが傾いている場合、オート V キーストーン補正が正しく機能しない場合があります。「V キーストーン」を手動で調整してください。	5、14、27
画面が暗い／明るすぎる	「明るさ」、「コントラスト」、「ランプモード」の設定により、画面の明るさが変わります。適切な値になっているか確認してください。	18、27
	ランプが消耗していると画面が暗くなります。「ランプの使用時間」を確認し、ランプを交換してください。	29
画面がぼやける	フォーカスがあっていることを確認してください。	13
	レンズが結露していると画面がぼやけます。結露してしまった場合は、電源を入れたまま約 2 時間そのままにしておいてください。	–
画面にノイズが出る	再生する機器との間の接続ケーブルがしっかりと差し込まれていることを確認してください。	8
音声が出ない	再生する機器、または外部オーディオ機器との間の接続ケーブルがしっかりと差し込まれていることを確認してください。	8
	外部オーディオ機器が正しく設定されていることを確認してください。	–
	再生する機器との間の接続ケーブルがしっかりと差し込まれていることを確認してください。	–
	消音（ミューティング）されていると音声が出ません。	6
	音量が最小になっていないことを確認してください。	6、18
リモコンが機能しない	電池が正しく挿入されていることを確認してください。	–
	電池が消耗していないことを確認してください。	–

症状	対処のしかた	ページ
ファンの音が気になる	以下のような場合は、ランプなどをより冷却する必要があるため、ファンの音が大きくなります。 ・ランプモードを「高」で使用している ・高地で使用している（高地モード：「入」） ・本機の周りの温度が高い場所で使用している	27
	吸気口、排気口がふさがれていると内部温度が上昇し、ファンの音が大きくなります。	3

ランプを交換する

投写画面にメッセージが表示された場合、またはインジケーターにランプ交換のお知らせが表示された場合は、新しいランプに交換してください。（34、35 ページ）
交換ランプは、プロジェクターランプ LMP-E211（別売）をお使いください。

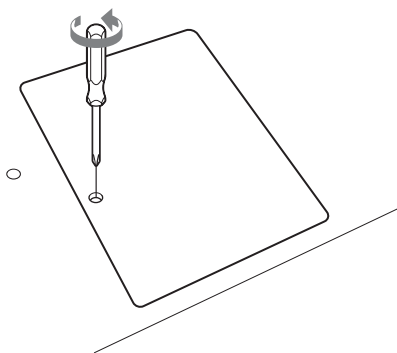
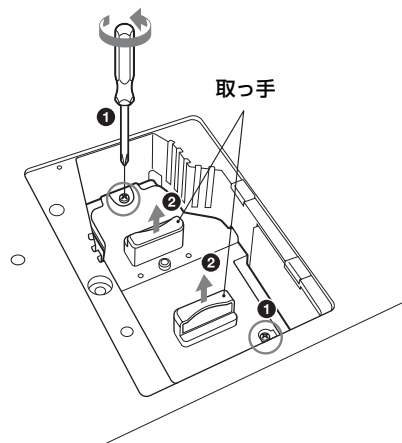
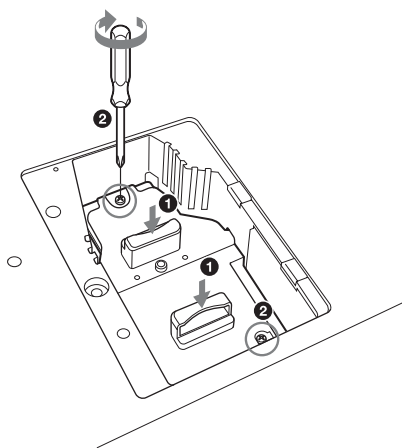
⚠警告

・電源を切った直後はランプが高温になっているため、**触れるとやけどの原因**となります。ランプを充分に冷やすため、**本機の電源を切ったあと 1 時間以上たってからランプを交換**してください。
・ランプをはずしたあとのランプ収納部に、金属類や燃えやすい物などの異物を入れないでください。火災や感電の原因となります。また、やけどの危険がありますので手を入れないでください。

⚠注意

・ランプが破損している場合は、ご自分でランプ交換を行わず、ソニーの相談窓口にご相談ください。
・ランプを取り出すときは、必ず指定された場所を持ち、ランプを傾けずに水平にしたまま取り出してください。指定された場所以外の部分に触れるとけがややけどの原因となることがあります。また、ランプを傾けると、万一ランプが破損している場合に破片が飛び出し、けがの原因となることがあります。

1 電源を切り、電源コードを抜く。

2 ランプが十分冷えてから、ランプカバーのネジ（1 本）をゆるめ、ランプカバーを開く。

3 ランプのネジ（2 本）をゆるめ、取っ手を持ってランプを取り出す。

4 **新しいランプを確実に奥まで押し込み、ネジ（2 本）を締める。**

5 **ランプカバーを閉じ、ネジ（1本）を締める。**

ご注意

ランプやランプカバーが確実に装着されていないと、電源が入りません。

6 **電源コードを電源コンセントに差し込み、電源を入れる。**

7 **ランプタイマーの初期化を行う。**

次回の交換時期をお知らせするために、ランプタイマーを初期化します。初期設定メニューから「ランプタイマー初期化」を選び、ENTER ボタンを押すとメッセージが表示されます。「はい」を選ぶとランプタイマーを初期化します。（25 ページ）

エアーフィルターを掃除する

投写画面にメッセージが表示された場合、エアーフィルターを掃除してください。（35 ページ）

エアーフィルターを掃除しても汚れが落ちないときは、新しいエアーフィルターに交換してください。新しいエアーフィルターについては、お買い上げ店またはソニーの相談窓口にご依頼ください。

⚠注意

エアーフィルターの掃除を怠ると、ゴミがたまり、内部に熱がこもって、故障・火災の原因となることがあります。

1 電源を切り、電源コードをコンセントから抜く。

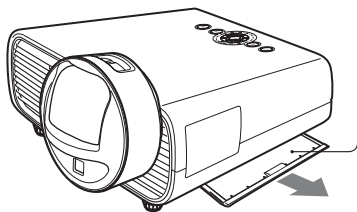
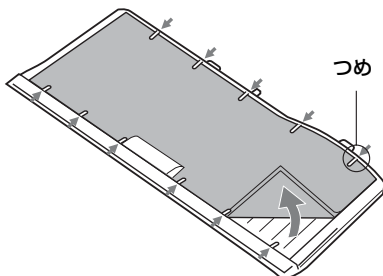
2 エアーフィルターカバーを引き出す。

3 掃除機でエアーフィルターを掃除する。

図のようにエアーフィルターを取りはずし、エアーフィルターを掃除機で掃除してください。

4 エアーフィルターカバーを元に戻す。

ご注意

エアーフィルターが確実に装着されていないと、電源が入りません。

仕様

項目		項目説明
型名		**VPL-SX125/VPL-SW125**
投写方式		3LCD 方式
表示素子	有効表示サイズ	VPL-SX125：0.63 型（16.0 mm）、3 枚、アスペクト比 4：3 VPL-SW125：0.59 型（15.0 mm）、3 枚、アスペクト比 16：10
	有効画素数	VPL-SX125：2,359,296 画素（1024 × 768 ピクセル、3 枚） VPL-SW125：3,072,000 画素（1280 × 800 ピクセル、3 枚）
投写レンズ	フォーカス調整	手動
光源		高圧水銀ランプ 210 W 型
画面サイズ		VPL-SX125：50 ～ 110 型（1.27 m ～ 2.79 m） VPL-SW125：50 ～ 100 型（1.27 m ～ 2.54 m）
有効光束（明るさ）*1		VPL-SX125：2500 lm VPL-SW125：2600 lm （ランプモード：高）
スピーカー		1 W × 1（モノラル）
対応走査周波数 *2		水平：19 ～ 92 kHz、垂直：48 ～ 92 Hz
表示可能解像度	コンピューター信号入力時	最大入力解像度：1400 × 1050 ピクセル（リサイジング表示） パネル表示解像度： VPL-SX125：1024 × 768 ピクセル VPL-SW125：1280 × 800 ピクセル
	ビデオ信号入力時	NTSC、PAL、SECAM、480/60i、576/50i、480/60p、576/50p、720/60p、720/50p、1080/60i、1080/50i
カラー方式		$NTSC_{3.58}$、PAL、SECAM、$NTSC_{4.43}$、PAL-M、PAL-N、PAL60

項目		項目説明
型名		**VPL-SX125/VPL-SW125**
コンピューター／ビデオ入出力	入力 A	**RGB/Y PB PR 入力端子：**ミニ D-sub 15 ピン凹、同期付 G/Y 信号：1 Vp-p ± 2 dB、同期負、75 Ω終端、RGB 信号 / PB PR 信号：0.7 Vp-p ± 2 dB、75 Ω 終端、同期信号：TTL レベル ハイインピーダンス、正負極性 **音声入力端子：**ステレオミニジャック、定格入力 500 mVrms、入力インピーダンス 47 kΩ 以上
	入力 B（VPL-SX125 のみ）	**RGB 入力端子：**ミニ D-sub 15 ピン 凹、RGB 信号：0.7 Vp-p ± 2 dB、75 Ω 終端、同期信号：TTL レベル ハイインピーダンス、正負極性 **音声入力端子：**ステレオミニジャック、定格入力 500 mVrms、入力インピーダンス 47 kΩ 以上
	入力 B（VPL-SW125 のみ）	**HDMI 入力端子：**HDMI 19 ピン、HDCP、HDMI audio 対応
	S ビデオ入力	**S ビデオ入力端子：**ミニ DIN 4 ピン、Y 信号：1 Vp-p ± 2 dB、同期負、75 Ω 終端、C 信号：（バースト信号）0.286（NTSC）/0.3（PAL/SECAM）Vp-p ± 2 dB、75 Ω 終端 **音声入力端子：**ピンジャック× 2、定格入力 500 mVrms、入力インピーダンス 47 kΩ 以上
	ビデオ入力	**ビデオ入力端子**：ピンジャック、1 Vp-p ± 2 dB、同期負、75 Ω 終端 **音声入力端子：**S ビデオ入力と共用
	出力	**モニター出力端子：**ミニ D-sub 15 ピン凹、同期付 G/Y 信号：1Vp-p ± 2 dB 、同期負、75 Ω 終端、RGB 信号 /PB PR 信号：0.7 Vp-p ± 2 dB、75 Ω 終端、同期信号：HD、VD 4 V（オープン）、1 Vp-p（75 Ω）、正負極性 **音声出力端子：**ステレオミニジャック、ステレオ、1 Vrms（ボリューム最大、500 mVrms 入力時）、出力インピーダンス 5 kΩ
その他の端子		**RS-232C 端子：**D-Sub 9 ピン 凹 **LAN 端子：**RJ45、10BASE-T/100BASE-TX
使用温度（使用湿度）		0 ～ 40 ℃（20 ～ 80%（結露なきこと））

項目	項目説明
型名	**VPL-SX125/VPL-SW125**
保存温度 （保存湿度）	− 10 ～ +60 ℃（20 ～ 80%（結露なきこと））
電源	AC 100 V、3A、50/60 Hz
消費電力	290 W
待機電力	3 W（スタンバイモード「標準」時）／ 1 W（スタンバイモード「低」時）
発熱量	990 BTU
標準外形寸法 （幅×高さ×奥行き）	約 313.4 × 160.3 × 349.3 mm 約 313.4 × 144.9 × 349.3 mm（突起部含まず）
質量	約 3.7 kg
付属品	簡易説明書の「付属品を確かめる」をご覧ください。
別売りアクセサリー*3	**プロジェクターランプ LMP-E211（交換用）**

ご注意

*1 出荷時における本製品全体の平均的な値を示しており、JIS X6911:2003 データプロジェクターの仕様書様式にのっとって記載しています。測定方法、測定条件については附属書 2 に基づいています。

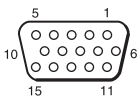
*2 詳細は、対応信号表をご覧ください（46 ページ）。

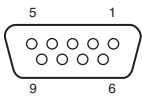
*3 ここに記載されている別売りアクセサリーは、2011 年 4 月現在のものです。

本機（別売アクセサリーを含む）の仕様および外観は改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

お使いになる前に、必ず動作確認を行ってください。故障その他に伴う営業上の機会損失等は保証期間中および保証期間経過後にかかわらず、補償はいたしかねますのでご了承ください。

ピン配列

RGB 入力端子（ミニ D-sub 15 ピン、凹）

1	映像入力 （赤）R	9	DDC 用 電源入力
2	映像入力 （緑）G	10	接地
3	映像入力 （青）B	11	接地
4	接地	12	DDC/SDA
5	RESERVE	13	水平同期信号
6	接地（赤用）	14	垂直同期信号
7	接地（緑用）	15	DDC/SCL
8	接地（青用）		

RS-232C 端子（D-Sub 9 ピン、凹）

1	NC	6	NC
2	RXDA	7	RTS
3	TXDA	8	CTS
4	DTR	9	NC
5	GND		

対応信号一覧

コンピュータ信号

解像度	fH [kHz]/ fV [Hz]	入力端子	
		RGB	HDMI*1
640 × 350	31.5/70	●	
	37.9/85	●	
640 × 400	24.8/56	●	
	31.5/70	●	
	37.9/85	●	
640 × 480	31.5/60	●	●
	35.0/67	●	
	37.9/73	●	
	37.5/75	●	
	43.3/85	●	
800 × 600	35.2/56	●	
	37.9/60	●	●
	48.1/72	●	
	46.9/75	●	
	53.7/85	●	
832 × 624	49.7/75	●	
1024 × 768	48.4/60	●	●
	56.5/70	●	
	60.0/75	●	
	68.7/ 85	●	
1152 × 864	64.0/70	●	
	67.5/75	●	
	77.5/85	●	
1152 × 900	61.8/66	●	
1280 × 960	60.0/60	●	●
	75.0/75	●	
1280 × 1024	64.0/60	●	●
	80.0/75	●	
	91.1/85	●	
1400 × 1050	65.3/60	●	●
1280 × 768	47.8/60	●	●
1280 × 720	45.0/60	●	●
1360 × 768	47.7/60	●	●
1440 × 900	55.9/60	●	●
1280 × 800	49.7/60	●	●

デジタル TV 信号

信号名	fV（Hz）	入力端子	
		RGB/ YP_BP_R	HDMI*1
480i	60	●	●
576i	50	●	●
480p	60	●	●
576p	50	●	●
1080i	60	●	●
1080i	50	●	●
720p	60	●	●
720p	50	●	●

アナログ TV 信号

信号名	fV（Hz）	入力端子
		VIDEO/ S VIDEO
NTSC	60	●
PAL/SECAM	50	●

ご注意

*1：VPL-SW125 のみ対応。

・表に記載されていない信号を入力した場合、画像を正しく表示できないことがあります。

・パネル表示解像度と異なる入力信号では、入力信号そのままの解像度での表示はされず、文字や罫線の太さなどが不均一となる場合があります。

投写距離

投写する画面のサイズごとの投写距離と投写画面の高さ位置を示します。投写距離は、レンズ前面から投写面までの距離です。投写画面の高さは、レンズ中心から投写する面に対して垂直に引いた線と投写する面が交差する位置（図中 A）から投写画面の下端（天井設置時は上端）までの距離です。

床置き設置時（アジャスター（後部）最大）

VPL-SX125

投写距離表

単位：m

画面サイズ		投写距離 L	投写画面の高さ位置 H
対角 D	横×縦		
50 型 (1.27m)	1.02 × 0.76	0.61	0.08
80 型 (2.03m)	1.63 × 1.22	1.00	0.12
90 型 (2.29m)	1.83 × 1.37	1.13	0.14
100 型 (2.54m)	2.03 × 1.52	1.26	0.15
110 型 (2.79m)	2.24 × 1.68	1.39	0.17

投写距離計算式

D：投写画面サイズ（対角）

H：レンズ中心からスクリーン下端までの高さ

計算式 1　　単位：m

投写距離 L
L=0.013009 × D － 0.0384

計算式 2

投写画面の高さ位置 H
H=0.00152 × D

VPL-SW125

投写距離表

単位：m

画面サイズ		投写距離 L	投写画面の高さ位置 H
対角 D	横×縦		
50 型 (1.27m)	1.08 × 0.67	0.65	0.15
60 型 (1.52m)	1.29 × 0.81	0.79	0.18
70 型 (1.78m)	1.51 × 0.94	0.93	0.21
80 型 (2.03m)	1.72 × 1.08	1.06	0.24
100 型 (2.54m)	2.15 × 1.35	1.34	0.30

投写距離計算式

D：投写画面サイズ（対角）

H：レンズ中心からスクリーン下端までの高さ

計算式 1　　単位：m

投写距離 L
L=0.013794 × D － 0.0394

計算式 2

投写画面の高さ位置 H
H=0.00296 × D

天井設置時（本体天面が天井と平行になるように設置）

⚠注意

天井への取り付け、移動は絶対に自分でやらないでください。必ずソニーの相談窓口にご相談ください。（有料）

VPL-SX125

投写距離表

単位：m

画面サイズ		投写距離 L	投写画面の高さ位置 H
対角 D	横×縦		
50 型 (1.27m)	1.02 × 0.76	0.61	0.08
80 型 (2.03m)	1.63 × 1.22	1.00	0.12
90 型 (2.29m)	1.83 × 1.37	1.13	0.14
100 型 (2.54m)	2.03 × 1.52	1.26	0.15
110 型 (2.79m)	2.24 × 1.68	1.39	0.17

投写距離計算式

D：投写画面サイズ（対角）

H：レンズ中心からスクリーン上端までの高さ

計算式 1　　単位：m

投写距離 L
L=0.013009 × D − 0.0384

計算式 2

投写画面の高さ位置 H
H=0.00152 × D

VPL-SW125

投写距離表

単位：m

画面サイズ		投写距離 L	投写画面の高さ位置 H
対角 D	横×縦		
50 型 (1.27m)	1.08 × 0.67	0.65	0.15
60 型 (1.52m)	1.29 × 0.81	0.79	0.18
70 型 (1.78m)	1.51 × 0.94	0.93	0.21
80 型 (2.03m)	1.72 × 1.08	1.06	0.24
100 型 (2.54m)	2.15 × 1.35	1.34	0.30

投写距離計算式

D：投写画面サイズ（対角）

H：レンズ中心からスクリーン上端までの高さ

計算式 1

単位：m

投写距離 L
L=0.013794 × D − 0.0394

計算式 2

投写画面の高さ位置 H
H=0.00296 × D

寸法図

本体側面（天面が天井と平行）

69.4
レンズ中心
79.9

単位：mm

本体底面

27.3
レンズ中心
34
24.4
77
40.2
188
40.2
131.8
8.2
24.4
18.1
22.7
79.3
125.4
249

単位：mm

保証書とアフターサービス

保証書

・この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お受け取りください。
・所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを →
「故障かな？と思ったら」の項を参考にして、故障かどうかお調べください。

それでも具合の悪いときは → お買い上げ店またはソニーの相談窓口（裏表紙）にご相談ください。

保証期間中の修理は → 保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。ただし、本機には消耗部品が含まれております。保証期間中でも長時間使用による消耗部品の交換は、有料になる場合があります。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は → 修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

索引

あ

か

さ

た

な

は

ま

ら

A

C

D

I

L

R

V

商標について

- Adobe、Adobe Acrobat は Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国ならびにその他の国における登録商標または商標です。
- Kensington は Kensington 社の登録商標です。
- HDMI、HDMI ロゴおよび High Definition Multimedia Interface は、HDMI Licensing LLC 社の商標または登録商標です。
- Internet Explorer は米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標です。
- PJLink は社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会の登録商標です。
- AMX は、AMX Corporation の商標です。
- その他のシステム名、製品名は、一般的に各開発メーカーの商標あるいは登録商標です。なお、本文中では ™、® マークは明記していません。

よくあるお問い合わせ、窓口受付時間などは
ホームページをご活用ください。

http://www.sony.co.jp/support

使い方相談窓口

フリーダイヤル・・・・・・・・・・・・・・・・ 0120-333-020
携帯電話・PHS・一部のIP電話・・・ 0466-31-2511

修理相談窓口

フリーダイヤル・・・・・・・・・・・・・・・・ 0120-222-330
携帯電話・PHS・一部のIP電話・・・ 0466-31-2531

※取扱説明書・リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。

FAX（共通） 0120-333-389

左記番号へ接続後、
最初のガイダンスが
流れている間に
「203」＋「#」
を押してください。
直接、担当窓口へ
おつなぎします。

ソニー株式会社　〒108-0075 東京都港区港南1-7-1